

共同募金へたくさんのご協力をいただき
ありがとうございました

皆さまからお寄せいただいた共同募金は、社会福祉協議会が実施している「ふれあい・いきいきサロン」や「配食サービス」等の各事業、ボランティア団体や町内会における福祉活動備品の整備、防災福祉マップの作成など様々な地域福祉活動に活用されています。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

平成22年度の共同募金実績

3億8,268万1,702円

赤い羽根一般募金 **2億2,504万6,281円**
(10月～12月実施)

歳末たすけあい募金 **1億5,763万5,421円**
(12月実施)

気軽に野菜の収穫に出かけています



施設整備費

交通の便が悪く、近くの畑に行くにも不便を感じていました。新しい車両で園児も保護者も大喜びです。
(写真：(福)くりの木会 ちゃいるどスクール・二戸市)

手づくりカレンダーをプレゼント



福祉のまちづくり支援事業

購入したパソコンやプリンター、デジカメで市内52カ所の福祉施設に手づくりカレンダーをプレゼントしました。
(写真：日本ボーイスカウト岩手連盟北上第5団・北上市)

座席が広くて気持ちが良い



施設整備費

送迎のほかにも施設でつくったケーキを配送します。15人乗りの車は「座席が広くて気持ちが良い」と好評です。
(写真：(福)やまゆり会 みのりホーム・滝沢村)

広がる地域の「笑顔」と「希望」



こどもまつり・遠野市



いきいきサロン・遠野市



昼食交流会・山田町



ウィングフェスタ・久慈市

社会福祉協議会の地域福祉活動

高齢者の「ふれあい・いきいきサロン」の運営や「ひとり暮らし高齢者給食サービス」「介護者の集い」のほかにも、「声の広報」「キャップハンディ体験」「ボランティアスクール」「こどもまつり」など、高齢者、障がい者、子育て支援などに幅広く役立っています。

日頃の備えが役立った



安全・安心の地域づくり支援事業

東日本大震災が発生した時は防災福祉マップのマニュアルに従って避難し、みんなの安全を確認できました。
(写真：三ツ割自治会・盛岡市)

被災者に炊き出しで支援



福祉のまちづくり支援事業

炊飯ジャー、オーブンレンジが「サロン」で好評です。東日本大震災の炊き出しにも大いに役立ちました。
(写真：長根町内会・宮古市)

赤い羽根

NEWS

岩手県共同募金会

今年、支えあうことの大切さを知った。



赤い羽根共同募金は、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの、地域の福祉活動を支援する募金です。災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、被災地支援にも役立っています。



お問い合わせは

社会福祉法人 **岩手県共同募金会**

〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3(ふれあいランド岩手内) ☎019-637-8889 FAX019-637-9712

または岩手県共同募金会市町村共同募金委員会(各市町村社会福祉協議会内)

10月1日～12月31日 **赤い羽根共同募金**

赤い羽根

検索

www.akaihane.or.jp

くわしくはこちらから



東日本大震災では、赤い羽根のもとにたくさんの義援金が集まりました。ご協力ありがとうございました。



あなたの募金をあなたの地域の福祉に役立てます じぶんの町を良くするしくみ。

皆さまからお寄せいただく赤い羽根共同募金は、地域でのささえあいのしくみづくりのため、子育て中の親や高齢者等を対象とした「サロン」の開催や見守り支援、ボランティア活動など、皆さまがお住まいの地域で行われている様々な地域福祉活動に活用されます。

また、被災地で行われるこの地域福祉活動は、被災された方々への間接的な支援にもつながります。

地域福祉活動を充実させるため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

今年度の目標額
3億2,989万円
赤い羽根一般募金 **1億9,817万円**
歳末たすけあい募金 **1億3,172万円**

今年度の目標額と使いみち

社会福祉施設利用者へのサービス向上に向けた施設整備のために

1,652万円

火災などで被災した世帯への見舞金や災害時の活動支援のために

989万円

共同募金運動を推進するために

4,708万円

社会福祉協議会・ボランティア団体・町内会などの地域福祉活動を支援するために

1億4,787万円

・高齢者を支える事業のために

2,719万円

・障がい者を支える事業のために

497万円

ひとり暮らし高齢者・障がい者等への年末の激励金、交流事業のために

1億853万円

・子育て家庭を支える事業のために

1,389万円

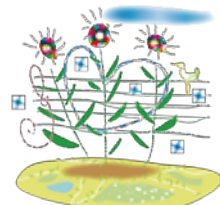
・地域における福祉のまちづくり事業のために

1億182万円

誰もが安心して暮らせるまちとするために

社会福祉法人岩手県共同募金会

会長 桑島 博



このたびの東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

さて、今年も赤い羽根共同募金の季節がまいりました。

赤い羽根共同募金は「自分の町を良くするしくみ」として、ご高齢の方や障がいのある方、子育て中の方など、すべての方が安心して暮らしていくた

めのまちづくりを目指し、地域にある生活・福祉課題を住民や団体など地域みんなで解決していくための取り組みを支援しております。

私たちは、今、地域で支えあうことの大切さをどこよりも強く感じております。ぜひ、あなたのまちで行われている「たすけあい・ささえあいの地域づくり」のため、今年もお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

「災害ボランティアセンター」の設置など被災地支援にも役立っています



宮古市災害ボランティアセンター



野田村災害ボランティアセンター



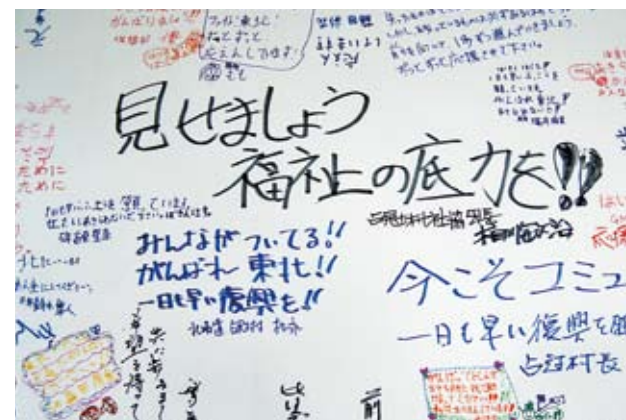
大槌町災害ボランティアセンター



陸前高田市災害ボランティアセンター



岩手県災害ボランティアセンターの被災地での活動



毎年皆さまからお寄せいただく赤い羽根共同募金の一部は、「災害等準備金」として積み立てられています。この災害等準備金は、大規模な災害が発生した時に、被災地支援を行う災害ボランティアセンター等の設置・活動経費として助成され、被災地の災害等準備金が不足するときは、全国の共同募金会が応援するしくみになっています。

東日本大震災では、本県に25カ所の災害ボランティアセンターが設置され、被災者のニーズ把握、活動するボランティアのコーディネートなど被災地(者)支援を行っています。

7月末現在、全国から災害等準備金の応援をいただき、助成総額は1億2,800万円程となりました。

義援金と共同募金

義援金は、被災された方々の生活再建のために直接届けられるお見舞金です。

一方、共同募金は、地域福祉活動をととして「じぶんの町を良くする」ための寄付金で、間接的に被災された方々を支援することができます。

被災された方々には、長期にわたり様々な支援が必要です。ぜひ皆さまのご協力をお願いします。

